

平成21年度 実施メニュー実施結果表

No. 16

取組名	妙高笹ヶ峰癒しの森の整備（継続）
流域名	上越流域
実施箇所及び実施日	<p>1 妙高笹ヶ峰癒しの森ミズバショウ観察会：新潟県妙高市地蔵山国有林（平成21年5月24日（日））</p> <p>2 夏休み親子自然教室 in 笹ヶ峰：新潟県妙高市地蔵山国有林（平成21年8月9日（日））</p>
取組の背景及び必要性	<p>森林の持つ癒し効果に人々の関心と期待が高まっていることから、平成19年度に「妙高笹ヶ峰癒しの森」を設定したところであり、関係機関・団体と連携を図りつつ、整備及びPR等を推進する。</p>
取組の内容	<p>1 「妙高笹ヶ峰癒しの森」を広く一般の人達に知ってもらえるよう、一般市民約100人を対象に妙高笹ヶ峰癒しの森ミズバショウ観察会を開催した。</p> <p>2 「夏休み親子自然教室 in 笹ヶ峰」において、家族連れら150人を「関川源流体験コース」等に案内し、好評を得た。</p>
国有林担当部局・役割	上越森林管理署：主催、実行委員
連携協働相手先・役割	上越地域振興局、妙高市、夢見平遊歩道を守る会等：企画、運営、共催等

【 参 考 資 料 】

取 組 名 妙高笹ヶ峰癒しの森の整備（継続）

1 妙高笹ヶ峰癒しの森ミズバシヨウ観察会



夢見平で説明を聞く参加者

2 夏休み親子自然教室 in 笹ヶ峰



水生生物を探している様子

上越タイムス (H21. 5. 26 (火))

夢見平に遅い春

残雪踏みトレッキング

妙高市笹ヶ峰高原の遅い春を楽しむ「夢見平ミズバシヨウトレッキング」が二十四日、夢見平遊歩道で行われた。市内のほか新潟市、関東方面からも参加。約百人が春の草花、木々の芽吹きを見ながら癒やしの森でフレッシュしていた。

笹ヶ峰ダム見湖を出発点とする夢見平遊歩道は、かつての木材運搬軌道の一部を利用し歩きやすくなったもので、平成四年発足した夢見平遊歩道保存会を中心に整備が進められてきた。昨年、森林セラピーロードに認定されている。

今年はや早い雪解けでミズバシヨウの見ごろは過ぎたものの、とことろにみられる白く大きな姿が訪れた人々の目を惹きました。残雪もあり、新緑とのコントラストをカメラで撮影する参加者もいた。

田原美子さんは「普段自然と縁のない生活をしているので体中にマイナスイオンを浴びて生き返りました。天気も暑くもなく寒くもなくちょうど良かったです」と「活力充電」に満足そうな表情を見せていた。

保存会の築田昇会長は「年々、夢見平を訪れる人が増えていきます。地元の方にも地元の方を知ってもらうため、大勢おいで頂きたい」と話している。



残雪と新緑の美しいコントラストを見る最適期を迎えた夢見平遊歩道